

Museum
and
Library

資料の保存と活用

よりよいかたちを目指して

ML連携
企画



京都工芸繊維大学の図案

美術工芸資料館「掌のなかの図案 - 近代京都と染織図案II」と連携して、図書館が所蔵する、前身校（京都高等工芸学校）時代に美術教育に用いられた図案集や関連資料を展示しました。



近代デザインの誕生

京都工芸繊維大学美術工芸資料館 名品展

美術工芸資料館「近代デザインの誕生 - 京都工芸繊維大学美術工芸資料館 名品展」と連携し、図書館が開校期より所蔵しているデザイン資料の展示を行いました。



土居次義と 土居コレクション

美術工芸資料館「記録された日本美術史 - 相見香雨・田中一松・土居次義の調査ノート展 - 」と連携して、本学名誉教授であった土居次義先生のご遺族から寄贈された、貴重な資料類を展示しました。



図案家の登場

近代京都と染織図案III

美術工芸資料館「図案家の登場 - 近代京都と染織図案III - 」と連携して、明治期に教育者としても活躍した図案家の図案集や、当時の美術教育資料を展示しました。

ICOM Kyoto 2019

オフサイト ミーティング

日本初の国際博物館会議（ICOM）世界大会が京都で開催され、大学博物館・コレクション国際委員会（UMAC）メンバーによる見学会が行われました。スタッフによる展示資料の紹介とともに、図書館と資料館の共同展示により、貴重な資料やコレクションを見直し、保存と活用を再構築する取り組みについて、質問が寄せられました。



ジャパニーズ・ モダンデザインの誕生

1940年代から1970年代

美術工芸資料館「ジャパニーズ・モダンデザインの誕生 - 1940年代から1970年代 - 」と連携し、数多くのデザイン資料を所蔵する山鬼文庫（金沢市）の明治時代末から戦中期にかけての雑誌やデザイン教本、デザイン戦略に関する書籍を展示しました。



山鬼文庫 館長 森仁史氏をお招きした公開講座も期間中に図書館内で開催しました。